

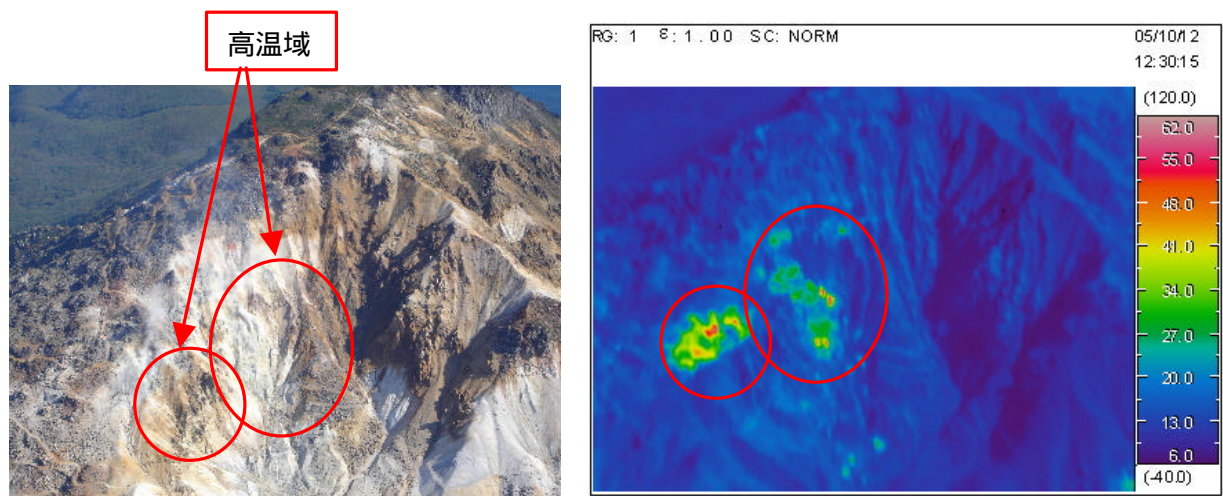
恵 山

1 概況

上空からの観測では、溶岩ドーム西側に位置する爆裂火口からの白色の噴気が認められました。前回(9月28日)実施した上空からの観測と比較して火山活動に変化は認められませんでした。

2 上空からの観測結果

10月12日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、溶岩ドーム西側に位置する爆裂火口内からは、100m程度まで上昇する白色の噴気が認められました。また、赤外熱映像装置*による観測では、前回(9月28日)の観測と比べて高温域の拡大や新たな地熱域などは認められませんでした。



北西側上空から撮影したY火口の表面温度分布

* 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。